



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 テクノクオーツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5217 URL <http://www.techno-q.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 園田 育伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 岸 慎二 (TEL) 03-5354-8171  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,791	40.8	2,446	72.4	2,368	60.0	1,606	61.8
2020年3月期	9,082	△0.4	1,419	△13.9	1,480	△13.1	992	△14.5

(注) 包括利益 2021年3月期 1,668百万円 (80.5%) 2020年3月期 924百万円 (△4.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	2,076.61	—	15.3	16.6	19.1
2020年3月期	1,283.38	—	10.7	11.7	15.6

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,273	11,254	73.7	14,551.81
2020年3月期	13,318	9,705	72.9	12,546.39

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,254百万円 2020年3月期 9,705百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,765	△990	△442	3,334
2020年3月期	1,580	△512	325	3,055

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00	116	11.7	1.2
2021年3月期	—	0.00	—	330.00	330.00	255	15.9	2.3
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	330.00	330.00		14.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,530	5.4	1,260	△1.2	1,260	△1.4	890	1.5	1,150.72
通 期	13,100	2.4	2,460	0.6	2,460	3.9	1,740	8.3	2,249.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	780,000株	2020年3月期	780,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	6,573株	2020年3月期	6,467株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	773,477株	2020年3月期	773,563株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	11,441	38.0	1,613	55.3	1,714	9.3	1,173	△1.9
2020年3月期	8,291	△1.5	1,039	△12.9	1,568	26.0	1,196	40.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	1,516.74		—					
2020年3月期	1,546.46		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	14,258		10,039		70.4		12,980.68	
2020年3月期	12,674		8,984		70.9		11,615.23	

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,039百万円 2020年3月期 8,984百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

・当社は、2021年5月28日機関投資家・アナリスト向けにウェブ説明会を開催する予定です。この説明会で新中期経営計画についても説明するとともに、資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)におけるわが国経済は、2019年末頃までは、合理化・省力化投資等を中心とした旺盛な設備投資需要にも支えられ、企業業績は堅調に推移していましたが、2020年2月頃から顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で状況は一変、多くの企業で業績が悪化し経済活動も停滞を余儀なくされました。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置等、様々な活動制約を経ても新規感染者数の拡大ペースは衰えを見せず、足元の2021年4月時点では、東京都や大阪府等に3回目の緊急事態宣言が発出される事態となっており、首都圏や近畿圏を中心に新規感染者数は高止まりしている状況にあります。人・モノの動きや経済活動が強く制限されるなか、インバウンド消費の消滅や外出の自粛により、特に宿泊・飲食・旅行・航空等、対個人サービス関連企業を中心に業績は悪化しており、今後の感染拡大ペースやワクチンの接種完了時期等も不透明であることから、先行きが見通せず、多くの企業が対応に苦慮している状況です。

一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、2018年秋以降、米中貿易摩擦等の影響から、メモリー投資の減速、データセンター関連需要の低迷等、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いていましたが、2019年秋頃から、半導体メーカー及び半導体製造装置メーカー各社の将来見通しは上昇基調に転じました。2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がる中、スマートフォンに代表されるコンシューマ製品や車載、産業機器で大幅な消費減少となりましたが、反面、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、データセンターなどのインフラ需要は急激に拡大しています。また、足元では、自動車産業の急激な回復を背景に、車載向けを中心とした半導体需給の逼迫が顕在化している状況です。今回の「コロナショック」を契機に、世界中の人々の行動様式は変化を迫られ、働き方、製造現場、購買行動、教育・医療には大きな変革が求められています。このような新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は着実に拡大していくと思われま

このような環境の中、当社では、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、当連結会計年度においては、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも、上場以来最高額を更新することができました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じた後、コロナ禍においても拡大を続け、足元では、過去最高レベルの水準で推移している状況です。

以上の結果、売上高は12,791百万円(前年同期比40.8%増)、営業利益は2,446百万円(同72.4%増)、経常利益は2,368百万円(同60.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,606百万円(同61.8%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の状況)

当連結会計年度末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ1,954百万円増加して15,273百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が606百万円、たな卸資産が624百万円、有形固定資産が403百万円、無形固定資産が185百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

#### (負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ405百万円増加して4,019百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が264百万円、未払法人税等が287百万円それぞれ増加し、長期借入金が231百万円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,549百万円増加して11,254百万円となりました。主な要因は利益剰余金が1,490百万円、為替換算調整勘定が61百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は73.7%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ278百万円増加し3,334百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,765百万円(前連結会計年度に対して185百万円の増加)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益2,364百万円の計上、減価償却費590百万円、売上債権の増加593百万円、たな卸資産の増加607百万円、仕入債務の増加320百万円、法人税等の支払469百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△990百万円(前連結会計年度に対して477百万円の減少)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出1,004百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは△442百万円(前連結会計年度に対して768百万円の減少)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出287百万円、配当金の支払額115百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	75.5	73.3	74.0	72.9	73.7
時価ベースの自己資本比率(%)	69.1	77.7	44.2	59.5	150.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.7	2.7	1.2	1.2	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	77.2	55.6	117.6	153.6	183.6

自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

2021年度のが国経済は、新型コロナウイルス感染症における変異型ウイルスの蔓延、ワクチン接種の遅れ等に伴う新規感染者数の高止まり、医療体制の逼迫等が懸念され、民間消費の低迷や対面型サービスの抑制等により、経済活動の水準が元に戻るまでには相応の時間がかかると予想されることから、少なくとも年度前半は景気の落ち込みが避けられないものと思われまます。

一方、半導体業界におきましては、「コロナショック」を契機に本格化した、世界的なリモートワークの広がりやデータセンター等メモリー需要の高まりなどプラス要因が強く、また、5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加も見込まれることから、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくものと予想されます。

当社グループの受注環境は、足元では過去最高レベルの水準に達しておりますが、加えて上記理由から中長期的な受注拡大の見通しは変えておりません。

このような状況下、当社グループは、既存のお取引先との深耕を図ると共に新規のお取引先の需要の掘り起こしに努めてまいります。また、従来からの微細化投資に加え、今後の需要拡大を見越して国内および中国子会社工場において、増産体制構築のための設備投資を順次進めてまいります。

以上のことから、2022年3月期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の通期連結業績予想につきましては、売上高13,100百万円(前連結会計年度比2.4%増)、営業利益2,460百万円(同0.6%増)、経常利益2,460百万円(同3.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,740百万円(同8.3%増)を見込んでおります。

なお、連結業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が一定期間で収束に向かうと仮定したものであり、状況により変更する可能性があります。業績予想の修正の必要が発生した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,246,736	3,477,344
受取手形及び売掛金	2,737,698	3,344,309
製品	352,136	420,326
仕掛品	1,086,481	1,210,883
原材料及び貯蔵品	848,189	1,280,308
その他	74,923	144,667
貸倒引当金	△3,344	△4,686
流動資産合計	8,342,820	9,873,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,961,866	4,029,343
減価償却累計額	△2,599,501	△2,688,213
建物及び構築物（純額）	1,362,365	1,341,130
機械装置及び運搬具	5,568,707	5,727,759
減価償却累計額	△3,922,584	△4,203,760
機械装置及び運搬具（純額）	1,646,123	1,523,999
土地	1,147,762	1,148,302
リース資産	290,772	285,912
減価償却累計額	△73,312	△102,718
リース資産（純額）	217,459	183,193
建設仮勘定	9,593	551,914
その他	517,003	611,002
減価償却累計額	△382,836	△438,157
その他（純額）	134,166	172,845
有形固定資産合計	4,517,469	4,921,383
無形固定資産	57,282	242,524
投資その他の資産		
投資有価証券	43,934	53,983
長期貸付金	6,453	7,785
繰延税金資産	43,534	30,629
その他	308,274	145,292
貸倒引当金	△874	△876
投資その他の資産合計	401,321	236,814
固定資産合計	4,976,074	5,400,722
資産合計	13,318,895	15,273,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714,070	978,278
短期借入金	1,037,188	981,748
リース債務	37,017	33,294
未払法人税等	211,921	499,286
賞与引当金	130,579	186,607
その他	237,611	333,328
流動負債合計	2,368,387	3,012,542
固定負債		
長期借入金	912,829	681,081
リース債務	197,848	164,554
役員退職慰労引当金	18,575	26,944
退職給付に係る負債	115,284	133,066
資産除去債務	922	922
固定負債合計	1,245,460	1,006,568
負債合計	3,613,848	4,019,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,350	829,350
資本剰余金	1,015,260	1,015,260
利益剰余金	7,684,625	9,174,802
自己株式	△35,473	△38,026
株主資本合計	9,493,763	10,981,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,486	△2,222
為替換算調整勘定	213,770	275,600
その他の包括利益累計額合計	211,283	273,377
純資産合計	9,705,046	11,254,764
負債純資産合計	13,318,895	15,273,876

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,082,754	12,791,083
売上原価	6,511,620	9,007,865
売上総利益	2,571,133	3,783,218
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	268,810	295,276
賞与引当金繰入額	35,442	47,106
退職給付費用	12,578	13,986
役員退職慰労引当金繰入額	12,370	8,958
運賃及び荷造費	112,040	153,663
その他	710,752	818,077
販売費及び一般管理費合計	1,151,994	1,337,067
営業利益	1,419,139	2,446,150
営業外収益		
受取利息	942	1,337
受取配当金	1,182	950
受取保険金	1,150	1,997
保険返戻金	4,223	1,431
補助金収入	20,583	1,479
為替差益	16,879	—
その他	26,572	3,883
営業外収益合計	71,534	11,080
営業外費用		
支払利息	10,163	9,699
為替差損	—	75,864
その他	303	2,901
営業外費用合計	10,467	88,464
経常利益	1,480,205	2,368,766
特別利益		
固定資産売却益	—	3,601
特別利益合計	—	3,601
特別損失		
固定資産除却損	17,679	7,371
投資有価証券評価損	27,501	—
特別損失合計	45,180	7,371
税金等調整前当期純利益	1,435,025	2,364,995
法人税、住民税及び事業税	437,648	745,786
法人税等調整額	4,597	13,003
法人税等合計	442,246	758,789
当期純利益	992,778	1,606,206
親会社株主に帰属する当期純利益	992,778	1,606,206

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	992,778	1,606,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,030	263
為替換算調整勘定	△79,450	61,830
その他の包括利益合計	△68,420	62,094
包括利益	924,358	1,668,300
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	924,358	1,668,300

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	829,350	1,015,260	6,807,892	△34,809	8,617,694
当期変動額					
剰余金の配当			△116,045		△116,045
親会社株主に帰属する 当期純利益			992,778		992,778
自己株式の取得				△664	△664
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	876,733	△664	876,069
当期末残高	829,350	1,015,260	7,684,625	△35,473	9,493,763

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△13,517	293,220	279,703	8,897,397
当期変動額				
剰余金の配当				△116,045
親会社株主に帰属する 当期純利益				992,778
自己株式の取得				△664
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	11,030	△79,450	△68,420	△68,420
当期変動額合計	11,030	△79,450	△68,420	807,648
当期末残高	△2,486	213,770	211,283	9,705,046

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	829,350	1,015,260	7,684,625	△35,473	9,493,763
当期変動額					
剰余金の配当			△116,029		△116,029
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,606,206		1,606,206
自己株式の取得				△2,552	△2,552
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	－	1,490,176	△2,552	1,487,623
当期末残高	829,350	1,015,260	9,174,802	△38,026	10,981,386

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△2,486	213,770	211,283	9,705,046
当期変動額				
剰余金の配当				△116,029
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,606,206
自己株式の取得				△2,552
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	263	61,830	62,094	62,094
当期変動額合計	263	61,830	62,094	1,549,717
当期末残高	△2,222	275,600	273,377	11,254,764

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,435,025	2,364,995
減価償却費	573,477	590,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△266	1,274
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,670	56,028
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,157	17,781
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,173	8,369
受取利息及び受取配当金	△2,124	△2,287
支払利息	10,163	9,699
為替差損益 (△は益)	△15,375	62,408
投資有価証券評価損益 (△は益)	27,501	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,601
固定資産除却損	17,679	7,371
売上債権の増減額 (△は増加)	64,499	△593,519
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,906	△607,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	55,722	320,777
その他	19,950	9,904
小計	2,158,001	2,242,101
利息及び配当金の受取額	2,138	2,289
利息の支払額	△10,293	△9,618
法人税等の支払額	△569,321	△469,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,580,525	1,765,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△151,000	△156,000
定期預金の払戻による収入	166,000	204,000
有形固定資産の取得による支出	△337,735	△1,004,481
有形固定資産の売却による収入	—	5,211
無形固定資産の取得による支出	△12,893	△15,136
投資有価証券の取得による支出	—	△9,900
貸付けによる支出	—	△2,620
貸付金の回収による収入	1,108	1,188
その他	△178,316	△12,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,837	△990,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△220,548	△287,188
自己株式の取得による支出	△664	△2,552
リース債務の返済による支出	△37,522	△37,017
配当金の支払額	△115,911	△115,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	325,353	△442,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,478	△54,216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,391,562	278,607
現金及び現金同等物の期首残高	1,664,174	3,055,736
現金及び現金同等物の期末残高	3,055,736	3,334,344

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、半導体事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	12,546円39銭	14,551円81銭
1株当たり当期純利益	1,283円38銭	2,076円61銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	992,778	1,606,206
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	992,778	1,606,206
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	773,563	773,477

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは半導体事業の単一セグメントであります。

① 生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	12,430,853	38.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 金額は消費税等を含んでおりません。

② 受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	13,382,759	40.5	4,202,223	16.4

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。

③ 販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	12,791,083	40.8

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。